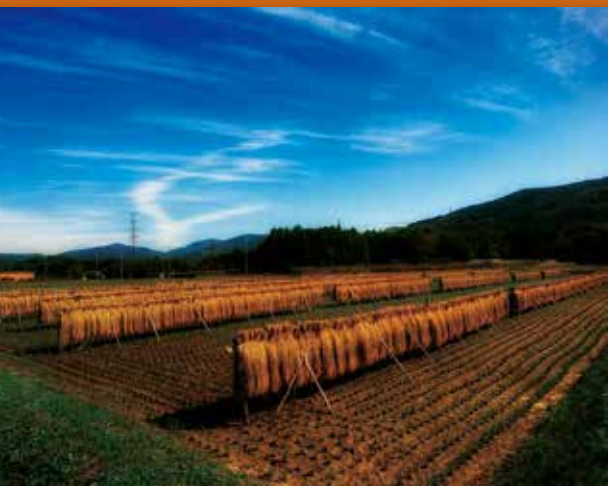


あなたとつなぐ

# 議会

No.56 新 城 市 議 会  
平成30年 11月発行

## 9月定例会



- 特集 議会改革・土木研修会……………1・2
- 一般質問……………3
- 主な議案の内容……………11
- 主な議案の討論……………12
- 議案賛否・委員会インフォメーション……………13
- 議決結果の一覧……………14
- お知らせ……………15

掲載写真は、新城の風景を、若者議会若者アウトドア観光チームが、フォトコンテストで募集し選りすぐった、しんしろの「イイトコ」です。

# 特集

## 議会改革調査特別委員会 経過報告

本特別委員会は、行政チェックのみならず、政策提言・立案など議会に求められる機能強化の必要性から市民とともに歩み開かれた議会、市民に信頼される議会を目指し、昨年12月に設置されました。

議会改革9項目、議会内の体制整備、議会内のICT化、および議会BCPの策定に関する調査・研究を進めています。今後それぞれの改革事項について「あり方」をまとめ必要に応じ逐次ルール化していきます。

現在、「情報公開」「住民参加」「機能強化」を議会改革の根幹となる視点として協議を進めています。

①情報公開については、議案や通告書の公開、ケーブルテレビ・インターネット放映、賛否結果、視察報告、政務活動費など、現状

において議会や議員の活動を分かりやすく公開できているかを検証し、改善検討を進めています。

②住民参加については、議会や委員会傍聴のしやすさ、請願・陳情者の意見陳述、議会報告会のあり方など、多様な市民意見を聴取するために議会と住民の皆様との双方向のコミュニケーションづくりが必要で、現状を踏まえてよりよいあり方を検討していきます。

③機能強化については、議会本来の権限や能力を発揮するために検討すべき重要な分野です。平成23年に基本理念を定めた議会基本条例を制定しましたが、現状において条例に沿って議会が動いているか、また、見直すべき点はあるかなどについて協議検討しています。委員間での議論を通してそれぞ

れの改革事項につき現状分析と課題の抽出、改善提案を行ってまいります。改善については即出来るものは実行に移します。

既に「議会に関する市民意識調査」を実施（概要を54号でお知らせ）、市民目線からの市議会の課題を検証し、議会改革のベースとして活かしています。「議員政治倫理条例の見直し」は議会運営委員会で検討を重ね改正案の作成に向けて進めています。

また、議会関連資料の電子化、データベース化等により議会運営の効率化と議論の質の向上を目指す「議会のICT化」、災害発生時における応急対策業務等を定め、迅速に意思決定する体制を整え市民生活の速やかな復旧・復興に資する「議会BCPの策定」につい

ては、担当グループを立上げ具体化に向けて動いています。

### 議会改革9項目

- ①議会基本条例の見直し
- ②先例集等の見直し
- ③会派制の再考
- ④専門的知見活用
- ⑤政策サイクル確立
- ⑥議会諮問附属機関の必要性
- ⑦若者・女性議会、地域協議会等との関わり
- ⑧市民意識調査の検証
- ⑨議員政治倫理条例の見直し



## 議会のICT化

議会内ICT化について、議会ICT化推進グループで文書管理システムおよび端末の早期導入を目指し、ソフトウェアや機種と比較検討を行っています。東三河では既に田原市議会・豊川市議会においてタブレット端末の導入によるICT化が進められ、議会運営・審議の充実・活性化、議会内事務効率化の先進的な取り組みがされています。また、本市役所でも部長会議等でタブレット端末を用いたペーパーレス会議が実践されています。当市議会においてもグループウェアソフトにより膨大な量の議会資料を電子化・データベース化することで、審議における迅速化や経費削減を図っていく必要があります。

## 議会BCP

### (業務継続計画)の策定

大規模災害時において迅速な議会機能の回復を図り市民ニーズを的確にとらえた復旧・復興に取り組めるよう、議会および議員の役割や行動方針を明確に示す新城市議会BCP（業務継続計画）を策定します。発災後議会が機能しなかった大震災などの状況を見るに、その必要性は改選前から議会改革の重点事項として共通認識となっていました。現在、本特別委員会の議会BCP策定グループで調査・研究を進め、本年度中の策定を目指しています。



## 議会改革を更に推進

早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度2017年度ランキングで、新城市議会は全国で99位、愛知県で4位という評価を頂きました。これからも一層市民福祉の向上に資する議会改革を推進してまいります。



会議の様子

## 土木行政研修会

8月22日、愛知県新城設楽建設事務所から講師を招き、土木行政研修会を開催しました。

この地域の道路、河川等に関する取り組み、事業の進捗状況の説明を受けることで、現状を把握することができました。

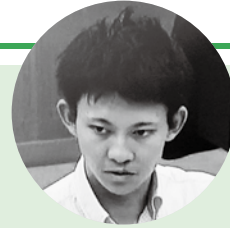
今後も、交通インフラの充実など、愛知県と更なる連携を図り、市民の暮らしの向上に努めてまいります。



研修会の様子

# 一般質問

9月定例会では、16人の議員が一般質問に登壇し、市の見解を質問しました。  
一般質問とは、議員個人の立場で質問するものです。



竹下修平 議員

**Q.** 小中学校の快適な教育環境の整備は。

**A.** 優先度、緊急性の高いものから改善を進める。

市内小中学校の教育環境について伺う。

- ① 各学校の教室や体育館での温度や湿度、暑さ指数等の把握は。
- ② 屋外での授業や部活動に影響を及ぼすほど暑い日の対応方法は。
- ③ 熱中症あるいはその初期段階と思わしき症状の発生件数と対応方法は。
- ④ エアコン設置に関する導入手法、機種、タイミング、初期費用、ランニングコスト、国の補助事業活用等、検討状況は。
- ⑤ 教室における現在の送風機や遮熱設備の設置状況は。
- ⑥ 教育環境をより良いものにし

ていくための今後の展望と方針は。

### 教育部長

- ① 教室内に設置の温度計と湿度計での実測値を参考に、環境省発表の暑さ指数にも注視している。
- ② 気温と暑さ指数の数値を参考に、活動に適した環境であるかを判断している。
- ③ 熱中症で病院に搬送された児童生徒はいない。熱中症の初期段階に似た症状の件数は、小学校157件、中学校198件あったが、保健室で1時間程度休み、教室に戻ったケースがほとんどであった。
- ④ 全学校設置に向け、様々な面をこれから検討していく。
- ⑤ 全学校の普通教室に扇風機を複数台配備している。
- ⑥ 学校現場と随時協議し、何が必要かを把握し、優先度、緊急性の高いものから改善を進める。

### そのほかの質問項目

- ・ 新城市都市計画マスタープランについて



山崎祐一 議員

**Q.** 千郷中こども園舎建て替えの進捗状況は。

**A.** 地元等の意見を聞き進めている。

千郷中こども園の園舎建て替えについて伺う。

- ① 地元から要望が市に提出されたのはいつか。経過と要望内容は。
- ② 最初に計画されたのはいつで、どんな形だったか。
- ③ 昨年度、基本設計費を計上した経緯と背景は。
- ④ 建て替えの緊急度は。
- ⑤ 今年1月に稲木地内への移転方針を決めた根拠や理由は。
- ⑥ 今年3月、基本設計費を繰り越す一方、実施設計予算を計上した。進捗状況と今後の見通しは。
- ⑦ 一部の反対をどう把握し認識しているか。対処法は。

- ⑧ 地元意見の認識は。
- ⑨ 千郷3園の位置付けと統廃合計画は。
- ⑩ 今期合併特例債期限の平成32年度完成を担保できているか。

### 健康福祉部長

- ① 要望書は提出されていない。
- ② 平成25年度事務事業実施計画に位置付けたことが最初である。
- ③ 合併特例債活用期限である平成32年度内に園舎建設を完了させるためである。
- ④ 旧耐震設計基準の建物であり、早期の建て替えが必要と考える。
- ⑤ 現在地と比較し、総合的に判断した。
- ⑥ 地元・保護者等の意見を調整し、施設内容や建設場所を決定していきたい。
- ⑦ 電磁波について影響がないことをデータや資料で説明している。
- ⑧ 様々な意見があり、まだ十分な意見集約がなされていない。
- ⑨ 園児数の動向等を慎重に勘案しながら検討を行う。
- ⑩ かなり厳しい状況にある。

### そのほかの質問項目

- ・ 地域活動交付金団体の活動について



長田共永 議員

**Q.** 小中学校等へのエアコン整備は。

**A.** 市内全学校へ設置していく。

市内こども園および小中学校のエアコン整備について伺う。

① こども園および小中学校における整備状況は。

② 今後の整備に対する見解は。

③ 教室以外の学校施設、体育館および給食室等への整備は。

④ 整備にかかる予算総額は。

⑤ 国の交付金「学校施設環境改善交付金」の利用状況は。

**健康福祉部長**

① こども園の整備状況は、3歳未満児保育室100%、3歳以上児保育室70%、一時保育室等のその他の部屋86・7%、遊戯室46・7%、給食室100%、職員室43・8%。

**教育部長**

② 計画的に整備を進めていく。  
④ 未設計のため不明である。

① 小中学校の整備状況は、職員室と保健室94・7%、校長室68・4%、パソコン教室52・6%、給食室16・7%、図書室10・5%、特別支援教室は設置有、普通教室には設置なし。

② 市内全学校へ設置していく。

③ 特別教室、給食室等は設置を検討していく。体育館について現段階での検討はない。

④ 今後、算出していく。

⑤ 平成29年度、東郷東小学校屋内運動場大規模改修工事。平成28年度、舟着小学校プール改築工事および鳳来寺小学校プール改修工事などで利用。

**そのほかの質問項目**

・ ニューキャッスル・アライアン  
ス会議2018について



鈴木長良 議員

**Q.** 新東名開通の好機を活かした観光の取り組みは。

**A.** 関連機関と連携を図り、誘客を図りたい。

観光振興の取り組みと課題について伺う。

① 観光客数の状況と課題は。

② 観光PR活動の状況は。

③ 観光基盤施設の改修、補修計画と課題は。

④ インバウンドに対する考え方と今後の展望は。

⑤ 古民家を活用した農泊事業に対する考え方は。

**産業振興部長**

① 平成28年は約359万人であったが、平成29年の入込客数は約325万人と減少した。アクションプランを着実に進捗していき

い。

② イベント出展時の観光プロモーション活動、マスクミを活用した情報発信、観光案内所の設置、多言語型ガイドブックや観光DVDの作成に取り組んでいる。

③ 桜淵公園再整備事業、湯谷温泉施設設備、公衆トイレの改修を進めている。適正な維持管理、計画的な改修・更新が課題である。

④ 知名度向上、インフラ整備や受け入れ態勢の充実に向けて、関連機関と連携を図り進めていく。

⑤ 田舎暮らし、農業体験等を通じて魅力を伝え、観光客との交流を深めることで地域の活性化につなげていきたい。

**そのほかの質問項目**

・ 再生可能エネルギーの普及と課題について







山口洋一 議員

**Q.** 臭気における基準値超過への対応は。

**A.** 事業者に原因究明と対策の実施を指導した。

新城南部企業団地内産業廃棄物中間処理施設について伺う。

- ① 市と県の指導内容と脱臭装置(二次)の性能評価は実施したか。
- ② 7月24日臭気指数27に基づく新聞記事内容に疑義はなかったか。
- ③ 汚泥・動植物残渣・木材チップの混合割合の遵守は確認したか。
- ④ いまだ、二次発酵槽用脱臭棟に足場と養生シートが残っているのはなぜか。
- ⑤ 悪臭防止法に基づく指導・勧告の発令時期は。

市民環境部長

- ① 事業所に原因の究明と対策を実施するよう指導した。脱臭装置の性能評価は、事業所がメーカーに依頼し実施している。
- ② 市が公表した調査結果を、記者が記事にしたものと認識している。
- ③ 市はしていない。県より立ち入りの際に適切に処理されていることを確認したと聞いている。
- ④ 修繕工事は7月末頃に完了した。微生物活性化などの調整のため試運転中と聞いている。
- ⑤ 1号基準での規制基準の超過はみられないことから、改善勧告は行っていない。

そのほかの質問項目

- ・ アンテナショップについて
- ・ 新庁舎について
- ・ ドクターヘリの利用について



小野田直美 議員

**Q.** 災害に対する市民意識の向上は。

**A.** 発災直後の3日間を乗り切るために、市民が自ら何が必要か考え、行動できるように啓発していく。

防災対策について伺う。

- ① 発災直後の市民行動は。
- ② 孤立可能性集落への対応は。
- ③ 職員研修は。
- ④ 民間病院との連携は。
- ⑤ アクシオンカードの制作は。
- ⑥ 女性や子どもへの対策は。
- ⑦ 子どもに配慮した避難所は。
- ⑧ 福祉避難所協定の課題。
- ⑨ 要援護者名簿の情報化。
- ⑩ 避難所整備や要援護者支援の避難所単位での検討は。
- ⑪ 放課後児童クラブ施設の活用は。
- ⑫ 発達障がいのある子どもと、保護者への支援は。

総務部理事

- ① 最低3日間は市外からの支援がないと考え、食料、飲料水の備蓄や地域住民の安否確認など互いに助け合うことが重要である。
- ② 情報提供、緊急ヘリポート、災害優先電話などの整備などの検討を行う。
- ③ 県、陸上自衛隊、新城警察署などの関係機関と合同で行う。
- ④ まずは、各開業医の単位で対応がされる。
- ⑤ 検討は進んでいない。
- ⑥ 避難所での秩序維持に努める。

健康福祉部長

- ⑦ 園長会に福祉避難所部会を設け検討を行っている。
- ⑧ 市と施設職員との情報共有、連携が必要である。
- ⑨ 対象者の個別の支援のために有益な情報である。
- ⑩ 避難所運営マニュアルにより適切な対応がなされる。
- ⑪ こども園の福祉避難所としての活用と併せて検討する。
- ⑫ 避難に対する不安と必要な支援を把握し事前に準備しておく。



佐宗龍俊 議員

Q. 消防団の強化・改善は。

A. 処遇改善と活動支援に務める。

新城市消防団の強化、改善について伺う。

- ① 消防団の処遇改善は。
- ② 団員確保は。
- ③ 消防団の設備、資機材等の充実は。
- ④ 消防団の技術、知識の向上と安全管理は。

消防長

① 新たな手当の検討および訓練や式典などの集約による負担軽減に努める。

② 定年延長、団員募集チラシにより一定の成果があったと考える。なお、性別を問わない加入促進や

若者に対する丁寧な説明など、引き続き地元と協力を働きかけていく。

③ 消防団詰所の改築については、消防施設整備計画に基づき進めている。資機材については新たな配備、修理、買い替えを含め計画的に維持していく。

④ 資機材取扱い訓練内容の見直しを図った。また勉強会の発展も考えている。各種行事や講習会など、折に触れ安全対策について周知を図っている。

そのほかの質問項目

• これまでの一般質問における答弁内容の確認



齊藤竜也 議員

Q. 道路法面補強計画のある箇所は。

A. 市道上小河内線及び市道鴨ヶ谷弓木線の2路線。

日本列島を豪雨、台風などの自然災害が襲い、本市にも土砂崩れ山崩れが発生した。山間地域の災害危険箇所について伺う。

- ① 山間地域の利用頻度の少ない道路でも法面の荒廃が目立つが、現状補強計画にある箇所はあるか。
- ② イノシシの被害による法面崩落の危険箇所があるが、対処計画は。

建設部長

① 下吉田阿寺地内の市道上小河内線において道路法面修繕工事を実施するため現在設計業務委託を発注している。台風20号により崩

土が発生した作手高松地内の市道鴨ヶ谷弓木線についても対策工事を実施すべく関係機関と協議を行っている。

② 掘り起こしなどの獣害に起因するものは山間部に入るほど多くあると考える。予防保全として計画的に対応、対策を行っていくことは難しいため、事後対策を行っているのが現状である。

定期的にパトロールを実施し、異常箇所の早期発見に努めていきたい。場合によっては、猟友会等に働きかけをお願いする。

そのほかの質問項目

- Sバスの運行について
- こども園のエアコン設置状況について





澤田恵子 議員

**Q.** 水事情は変化している。本当に設楽ダムの建設は必要か。

**A.** 国、県、上下流自治体の総意と考える。

設楽ダム建設計画からすでに45年が経過し、水事情も変化している。そこで市の判断について伺う。

- ① 西日本豪雨災害以降、ダム建設の規模、想定される危険や災害について検証はしたか。
- ② 地質学者が調査をし、地質地盤に問題があると指摘しているがどうか。
- ③ 受益者負担についての考えは。
- ④ 美しい自然の川を壊してまで設楽ダムは必要か。

**企画部長**

① 国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所に確認したところ

ろ、ダムの規模等計画変更は考えていないとの回答があった。住民の生命を最優先に考え、万一に備えた対策は必要であり、洪水対応など、河川管理者である国、県と協議や検討を進めていく。

② 国に確認したところ、建設に支障となる活断層は存在せず、各種調査、試験等なども行っており、十分な強度があることを確認していると聞いている。

③ 建設事業費は、約2,400億円。国と愛知県が負担することになっており、市の負担はない。

④ 東三河地域は、豊川の水によって深く結びついており、上下流が一体となって発展してきた。下流域の治水・利水対策に欠かせないダムとして、水没地権者・水源町・県および下流自治体の総意により事業が実施されていると考える。

**そのほかの質問項目**

- 千郷中こども園建設計画について
- 高速バス運行事業について



下江洋行 議員

**Q.** 権利擁護支援のあり方は。

**A.** 成年後見制度の普及に向け、機能強化を図っていく。

新城市第2次地域福祉計画の進捗と、権利擁護支援のあり方を考える上での諸課題について伺う。

① 「情報共有体制の確立」における中間評価と進捗状況は。

② 「支援や援護を必要とする人の把握と相談・権利擁護体制の充実」における中間評価と進捗状況は。

③ 虐待で権利侵害を受けている件数把握は。

④ 孤独死の対応や取り組みは。

⑤ 専門職の必要性は。

⑥ 権利擁護体制整備の充実と、検討状況は。

⑦ 「成年後見制度の利用の促進

に関する法律」で市が講ずる措置は。

⑧ 現場に精通した人材育成は。

**健康福祉部長**

① 評価の低かった事業は実施方法等の検討を加えていく。

② 権利擁護支援センターの設置に向けて市と社会福祉協議会で協議していく。

③ 7月末現在で疑いのあるものも含め、4件確認している。

④ 地域における見守りの強化を図っていく。

⑤ 迅速かつ適切な対応のため、専門職等による助言、支援等が必要と考える。

⑥ 各種計画で掲げた施策の推進を図り、現体制の機能強化を図る。

⑦ 当面は広報機能及び相談機能の充実を図ることを優先する。

⑧ 有資格者の採用及び研修等への積極的な参加を促していく。

**そのほかの質問項目**

- 消防水利について





中西宏彰 議員

**Q.** 臭気基準値をオーバーしたことに對する対応は。

**A.** 原因の究明と対策を指導していく。

新城南部企業団地内産業廃棄物中間処理施設の環境対策について伺う。

①測定結果が5回基準値をオーバーしたことに對する対応は。  
②搬入車両の悪臭苦情への対応は。

③当該企業から地元への説明会がないことに對する対策は。  
④当該企業の環境保全の誓約がないことに對する対策は。

⑤新城南部企業団地内の残りの一区画の現状は。

⑥新城南部企業団地内の情報共有会議開催等の進捗状況は。

⑦平成32年11月の許可更新に向

け十分な判断を県へ要望するべきでは。

**市民環境部長**

①引き続き規制基準値内に収まるよう、原因の究明と対策を指導していく。

②搬入車両の洗車を十分実施するよう指導していく。

③機会があるごとに引き続き要請をしていく。

④説明会と同様に、引き続き要請をしていく。

⑦許可権限者である県が、適切に判断すると考える。

**産業経済部長**

⑤購入を検討中の企業と交渉を継続しており、早期分譲完了（契約締結）に向けて県企業庁と連携して取り組んでいく。

⑥企業訪問を行い、市内全体の連絡組織設置の必要性について理解を求め、情報共有や連絡調整を図っていく。



山田辰也 議員

**Q.** 穂の香看護専門学校への支援は。

**A.** 継続的かつ円滑な学校運営ができるように支援していく。

穂の香看護専門学校は平成26年に、地域の看護師不足を補うことを重点に誘致した看護専門学校である。今年で4年目を迎えた。そこで今後の支援と運営をどのように考えているか伺う。

**企画部長**

穂の香看護専門学校は、奥三河唯一の高等教育機関として、看護師不足の解消および地域医療の充実に寄与できる人材育成の場を構築することを目的に誘致した。

これまでの支援として土地・建物の減額貸与、学生向けの修学資金貸与制度などがある。

また市と学校法人穂の香学園との間で「連携及び協力に関する協定」を結び、年2回、地域住民の代表および各種団体の代表等を含めた運営協議会を開催することで、相互理解を深めながら意見交換する場も設けている。より一層定員の確保に努め、学校運営に前向きに取り組んで行くと考えている。

穂の香看護専門学校は、この地域になくはない大事な高等教育機関であり、今後も引き続き支援を行い、更なる発展と地域の活性化に寄与していただけるよう共に努力していきたい。

**そのほかの質問項目**

- 千郷中こども園について
- 地域活動交付金について





柴田賢治郎 議員

Q. 土砂災害発生時の対処は。

A. 人命救出、救護を最優先に対応する。

記録的な降雨量や局地的な降雨  
が、日本各地で土砂災害をもたら  
し、気象条件の変化が今までの対  
策では対処できない状況にある。  
そこで本市の土砂災害への対応  
について伺う。

- ① 土砂災害の事前対応は。
- ② 土砂災害発生時の対処状況は。
- ③ 被害情報の収集方法は。

**建設部長**

① 危険箇所すべてに対策工事を  
行うには膨大な時間と費用を要す  
る。平成13年に施行された『土砂  
災害防止法』の目的に沿った中で、  
現在、土砂災害警戒区域等の調査

と指定を県がすすめている。

**総務部理事**

② 被害状況の把握など情報収集  
に努め、人命救出、救護を最優先に、  
応急対策を実施する。

同時に、避難所開設、避難勧告  
等の発令、道路の通行止め、立ち  
入り禁止の措置など、被害拡大や  
2次被害の防止策を講じる。

また、家屋が被災した時の行方  
不明者の捜索活動は、消防署が中  
心となるが、災害の規模が市の消  
防力を超える場合には、県を通じ  
自衛隊や緊急消防援助隊などへ支  
援要請を行っていく。

③ 主に市民からの災害対策本部  
の被害受付電話、119番への通  
報、警察からの情報、消防団、市  
の応急復旧班の巡視報告等で把握  
している。

最近の局地的な被害発生につい  
ては、地区の役員等に直接連絡し、  
情報収集するのも貴重な手段と考  
える。



**そのほかの質問項目**

- インバウンド対策について



浅尾洋平 議員

Q. 悪臭の原因は特定しているか。それ  
をとめる具体策の検討は。

A. 原因は特定できていない。事業所の  
対策を、職員が出向いて確認している。

新城南部企業団地内の産業廃棄  
物中間処理施設の悪臭・刺激臭の  
成分解析結果と今後の対策につい  
て伺う。

- ① 6月定例会以降の苦情件数は。
- ② 6月に行った「物質測定」結  
果の公表が遅れている理由は。悪  
臭と住民の健康被害との関係は。
- ③ 黒田川の水質検査は。
- ④ 施設で使用されている消臭剤  
「ミスト」の成分は。
- ⑤ 悪臭をとめる具体策の検討は。
- ⑥ 2次発酵槽用の脱臭装置の工  
事終了は。

**市民環境部長**

① 6月2日から8月31日までに、  
延べ41件。実人数は、匿名・企業  
も含めて6名程度と思われる。

② 6月に物質濃度測定は実施し  
ていない。臭気と健康被害の因果  
関係について、判断をすることは  
できない。

③ 当該事業所から処理水の排出  
がないことから、検査の必要はな  
いと判断し行っていない。

④ 森林浴の有効成分とされる  
フィトンチッドを主成分とする植  
物性精油で、一般的な消臭剤であ  
る。

⑤ 原因は特定できていない。事  
業所が実施した対策の有効性を、  
職員が出向いて確認している。

⑥ 7月末頃に完了しており、現  
在は微生物活性化等のため試運転  
中と聞いている。

**そのほかの質問項目**

- 小中学校の教育環境の改善問題  
について
- 空き家対策について







滝川健司 議員

**Q.** ドローンの活用について2年前に一般質問した。その後の経過は。  
**A.** 庁内勉強会などを開催し、どの業務に活用できるか検討する。

近隣自治体では積極的に導入し、多分野で活躍しているドローンの活用について伺う。

**総務部理事**

ドローンは、既に観光、測量、災害時における情報収集、施設の保守管理など幅広い分野において活用されている、有効性の高い機器である。

また、最近では障害物回避機能や無線電波に依存しない自動飛行等の技術革新が進むなど、法体制の整備も含め、活用の幅が広がっている。

これらのことを含め、ドローン



の可能性について、最新の状況を庁内全体で共有する必要があると考え、まずは庁内勉強会などを開催し、どういった業務に活用できるのか、市の政策への展開の可能性なども検討していく。

**再質問**

これまでの情報収集の過程と担当部署は。

**総務部理事**

防災安全課が防災関係、消防本部で災害対応の情報収集を行っていた。近隣市の視察も行っている。

**そのほかの質問項目**

- 愛知デステイネーションキャンペーンについて
- 改正健康増進法について
- 障害者雇用について

鈴木達雄 議員

**Q.** 地域公共交通検討の進捗状況、その内容は。  
**A.** 利用者ニーズの把握など利便性向上に向けた検討を行っている。

求められる地域公共交通について伺う。

- ①平成29年度から5年間を実施期間とする新城市地域公共交通網形成計画の進捗状況は。
- ②計画の検討組織の設置状況は。
- ③作手地区の地域交通再編への検討は。
- ④鳳来南部地区の地域交通再編への検討は。
- ⑤その他地区での検討は。
- ⑥タクシーの運行・利用促進形態は。
- ⑦スクールバスの運行と公共交通との役割分担について教育委員会等との協議状況は。

**総務部長**

①目標達成に向けて順調に進捗している。  
 ②地域での検討の輪を広げ、キーパーソンとなる人の発掘など具体的な検討組織の設置につなげていきたい。

- ③デマンド型交通の実現に向けて検討を行う。
- ④Sバスとデマンド型交通の並立が課題であり検討していく。
- ⑤利用者ニーズの把握など利便性向上に向けた検討を行っている。
- ⑥公共交通の課題をタクシー事業者とも共有することで、ニーズの掘り起こしができる。
- ⑦児童・生徒数の減少により通学での利用が見込まれない路線も考えられる。検討会の場で、学校、PTAや一般利用者の意見をすり合わせて考えていきたい。

**そのほかの質問項目**

- 土砂災害予防対策について



# 主な議案の内容

市議会9月定例会は9月3日から9月21日までの19日間の会期で開かれました。

この定例会では、平成29年度決算認定のほか、条例の制定・一部改正や補正予算など、市長提出議案38件などが上程され慎重審議を行いました。

決まりました!!

平成30年度  
一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億7970万4千円を追加します。

## ◆つげの活性化ヴィレッジ 管理事業

旧黄柳野小学校の老朽化した遊具を安全面から撤去します。

## ◆保育所管理事業

城北こども園が借用していた駐車場の返却に伴い、原状回復するため修繕を行います。  
漏水発生による水道配管の修繕を行います。

## ◆DOS地域再生事業

世界ラリー選手権イギリスラウンドへ職員を派遣するための経費です。日本ラウンド招致準備委員会のメンバーに随行し、運営について視察します。

## ◆住宅耐震化促進事業

不適格コンクリートブロック塀について、災害発生時の生命の安

全と倒壊による道路の閉塞を未然に防ぐため、撤去に係る費用に補助を行います。

## ◆小学校管理事業

雨漏り修繕、ブランコ修繕、電気設備修繕、樹木伐採など消防設備点検や日常点検において緊急性が高いものを行います。

新城市災害派遣手当等に関する条例の一部改正

旅館業法の一部改正に伴い、規定を整理するものです。

新城市しんしろ創造会議条例の制定

社会情勢の変化に対応し、全ての市民が、年齢等にかかわらず豊かに暮らすことのできる社会の創造のために必要な事項を調査審議する機関を設置します。



新城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

代替保育の提供に係る連携施設の確保の要件を緩和するため基準の一部を改めます。

財産の取得

庁用の中型バス一台を更新します。

新城市教育委員会委員の任命

安形茂樹氏(富岡東部)  
任期満了に伴い選任します。





# 主な議案の討論

この様な理由で  
賛成・反対しました

●第90号議案

## 新城市しんしろ創造会議条例の制定

(賛成多数により可決)

浅尾 洋平議員

反対

諮問機関として抽象的であること、同じような行政機構が生まれることで、市の責任が曖昧になると考え、反対する。

小野田 直美議員

賛成

市民が幸せに暮らせるように調査審議を行う組織として必要な会議であり、成果が出ることに期待し、賛成する。

●第91号議案

## 新城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(賛成多数により可決)

浅尾 洋平議員

反対

子どもの食事の外部委託が可能になることに、安心・安全が担保されないことを懸念し、反対する。

鈴木 長良議員

賛成

保育の受け皿拡大に向けた子育て世代への福祉向上を目的としたものと理解し、賛成する。

●第92号議案

## 平成30年度新城市一般会計補正予算(第3号)

(賛成多数により可決)

浅尾 洋平議員

反対

老朽化した教育施設の修繕等に優先的に予算をつけるべきであり、極めて不十分であるとして、反対する。

柴田 賢治郎議員

賛成

市民サービスの維持向上に必要な経費であり、十分な検討がなされていると考え、賛成する。

●第95号議案

## 平成29年度新城市一般会計決算認定

(賛成多数により認定)

山田 辰也議員

反対

穂の香看護専門学校、地域自治区制度、高速バス運行事業等、税金の使い方について市民の理解は得られていないとして、反対する。

柴田 賢治郎議員

賛成

市税は前年比増、収納率も緩やかに増加しており、市の努力を感じる。地方交付税の縮減を想定し、新たな財源模索と歳出抑制の確認ができており、賛成する。

浅尾 洋平議員

反対

独自施策を検討するときに、国県の補助金や地方交付税頼りになりかねない。将来に不安と危惧を感じる内容のため、反対する。

鈴木 達雄議員

賛成

総合計画に基づき時代の要求に応える各種の施策が執行され、まち・ひと・しごと創生に成果を得たことを評価し、賛成する。

●第120号議案

## 平成29年度新城市病院事業会計決算認定

(賛成多数により認定)

山口 洋一議員

反対

企業会計の一般原則に一部触れる部分があると判断し、反対する。

中西 宏彰議員

賛成

反対討論として指摘のあった件は、新地方公営企業会計制度以前に積み立てられてきたものであり、会計制度にのっとった経理処理が適正に行われているため、賛成する。

滝川 健司議員

反対

新会計基準に移行後は、新会計基準に沿って処理されるべきと考え、反対する。

# 議案賛否

議案番号	議案名	議決結果	合計		議員名																	
			賛成	反対	竹下修平	齊藤竜也	佐宗龍俊	鈴木長良	澤田恵子	浅尾洋平	柴田賢治郎	小野田直美	山田辰也	山崎祐一	村田康助	山口洋一	下江洋行	長田共永	鈴木達雄	滝川健司	中西宏彰	丸山隆弘
90	新城市しんしろ創造会議条例の制定	原案可決	15	2	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	新城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	平成30年度新城市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	14	3	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	平成29年度新城市一般会計決算認定	認定	13	4	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
120	平成29年度新城市病院事業会計決算認定	認定	13	4	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○

議長は議決に加わらない

※○は賛成、×は反対、賛否については各議員からの報告をもとに公表します。

各委員長が、委員会活動について分かりやすくお伝えするコーナーです。

## 委員会インフォメーション

委員会とは、議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査調査機関として設置される審査機関のことです。



救急隊の救命訓練の視察

### 総務消防委員会

■新城市消防本部の施設を視察しました。  
新城市消防本部の管轄は新城市、設楽町、東栄町および豊根村の全域で、愛知県約20%もの面積の地域の安全・安心を守るという役割を担っています。実際に8カ所の施設を回って現場の状況や今後の課題を確認することができました。それらを今後の委員会活動に活かしていきます。

### 厚生文教委員会

■9月定例会で4件の陳情を審査しました。  
教職員定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担の拡充、国・県の私学助成の拡充、私立高校生の父母負担の軽減等いずれも趣旨採択に決まりました。未来を担う子ども達が健康やかに成長するためには、各市町村の意見を取り入れ、国の教育ビジョンの中で適切な判断がとめられます。

### 経済建設委員会

■愛知東農業協同組合と、農政全般について意見交換する農政協議会に参加しました。水田の担い手・新規就農者確保と支援、生産者の物流インフラへの支援等々、営農・店舗運営・福祉サービスにおける、市に対しての要望も承りました。内容について、政策課題として精査および調査研究してまいります。



# 議 決 結 果 一 覧

## 9月定例会

議案番号	議 案 名	議決年月日	審議結果
報告6	平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	30・9・3	報告
報告7	新城市土地開発基金運用状況	〃	〃
報告8	公益財団法人農林業公社しんしろの経営状況	〃	〃
報告9	有限会社つくで手作り村の経営状況	〃	〃
報告10	新城市土地開発公社の経営状況	〃	〃
報告11	平成29年度新城市一般会計予算の継続費に係る精算報告書	〃	〃
88	平成30年度新城市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認	〃	承認
89	新城市災害派遣手当等に関する条例の一部改正	30・9・21	原案可決
90	新城市しんしろ創造会議条例の制定	〃	〃
91	新城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
92	平成30年度新城市一般会計補正予算（第3号）	〃	〃
93	平成30年度新城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
94	平成30年度新城市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
95	平成29年度新城市一般会計決算認定	〃	認定
96	平成29年度新城市国民健康保険事業特別会計決算認定	〃	〃
97	平成29年度新城市後期高齢者医療特別会計決算認定	〃	〃
98	平成29年度新城市介護保険事業特別会計決算認定	〃	〃
99	平成29年度新城市国民健康保険診療所特別会計決算認定	〃	〃
100	平成29年度新城市宅地造成事業特別会計決算認定	〃	〃
101	平成29年度新城市千郷財産区特別会計決算認定	〃	〃
102	平成29年度新城市東郷財産区特別会計決算認定	〃	〃
103	平成29年度新城市塩沢組財産区特別会計決算認定	〃	〃
104	平成29年度新城市吉川組財産区特別会計決算認定	〃	〃
105	平成29年度新城市吉川上組財産区特別会計決算認定	〃	〃
106	平成29年度新城市小畑財産区特別会計決算認定	〃	〃
107	平成29年度新城市中宇利財産区特別会計決算認定	〃	〃
108	平成29年度新城市富岡財産区特別会計決算認定	〃	〃
109	平成29年度新城市黒田財産区特別会計決算認定	〃	〃
110	平成29年度新城市庭野財産区特別会計決算認定	〃	〃
111	平成29年度新城市一畝田財産区特別会計決算認定	〃	〃
112	平成29年度新城市八名井財産区特別会計決算認定	〃	〃
113	平成29年度新城市吉川上林組財産区特別会計決算認定	〃	〃
114	平成29年度新城市長篠財産区特別会計決算認定	〃	〃
115	平成29年度新城市大野財産区特別会計決算認定	〃	〃
116	平成29年度新城市川合池場財産区特別会計決算認定	〃	〃
117	平成29年度新城市海老財産区特別会計決算認定	〃	〃
118	平成29年度新城市山吉田財産区特別会計決算認定	〃	〃
119	平成29年度新城市作手財産区特別会計決算認定	〃	〃
120	平成29年度新城市病院事業会計決算認定	〃	〃
121	平成29年度新城市水道事業会計決算認定	〃	〃
122	平成29年度新城市工業用水道事業会計決算認定	〃	〃
123	平成29年度新城市下水道事業会計決算認定	〃	〃
124	財産の取得	〃	原案可決
125	新城市教育委員会委員の任命	〃	同意

# お知らせ

## ●●●●●●●●●● 市民まちづくり集會にご参加下さい。

12月1日(土)に「第7回新城市 市民まちづくり集會」が開催されます。

5月に実行委員会が立ち上がり、当日に向けて検討を重ねてまいりました。市議会からは、各常任委員会から1名ずつ、計3名の議員が実行委員会に参加しています。今回のテーマ

は「おしえて!みんなの:新城イイトコ!」。有名な観光名所ではなく、あまり知られていない、あなたが知っている「新城イイトコ」を出し合って「裏マップ」を作成し、その「イイトコ」を多くの人に伝えるにはどうするのが良いかを、楽しくディスカッションしていただきます。

その他に、行政・若者議会・市議会からの

報告があり、市議会からは、これまで実施した行政視察の中から、観光に関する視察の報告をします。

当日は多くの議員も参加しますので、新城市自治基本条例に定められた「市民まちづくり集會」と堅苦しく考えず、市民の皆様が「まちづくり」を考えるきっかけとして、気軽に、大勢の皆様のご参加をお願いします。

(佐宗龍俊)



実行委員会の様子

## ●●●●●●●●●● 12月定例会日程(予定)

12月7日	本会議第1日 議案の審議
12日	本会議第2日 一般質問 ※中継
13日	本会議第3日 一般質問 ※中継
14日	本会議第4日 一般質問(予備日) ※中継 議案の審議
17日	総務消防委員会 厚生文教委員会
18日	経済建設委員会 予算・決算委員会
21日	本会議第5日 議案の審議・採決

## ●●●●●●●●●● 議會中継を ご覧ください



一般質問の様子を、ケーブルテレビ12チャンネルで放送します。時間は午前10時からで、終了時刻は議事の都合により異なります。



昨年11月に議員となり、広報広聴委員を務めることになって、早1年が過ぎました。それ以前は一市民として「市議会だより」を拝読していましたが、一通り目を通す程度でありました。現在編集に携わる中で、編集委員各々が、「市民の皆様は、議会の何を伝えるべきか、どのようにしたらわかり易くなるのか」を真剣に考えて編集している姿を目の当たりにし、もともと皆様に熟読していただける「市議会だより」となるよう、私も尽力しなければならぬと感じています。

(佐宗龍俊)

### ■市議会だより編集委員会

#### 広報広聴委員会

委員長/下江洋行 中西宏彰  
委員 鈴木長良 柴田賢治郎  
小野田直美 鈴木達雄  
竹下修平 齊藤竜也  
佐宗龍俊

●ご意見・ご感想など、議会事務局へご連絡ください。  
【電話】0536-233-7657  
【メール】gikai@city.shinshiro.lg.jp